

## 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

### 実施者

沖縄セルラー電話株式会社、株式会社琉球銀行、株式会社サンエー、東京海上アセットマネジメント株式会社、東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店

### 取組概要

取組名 : 石垣島野底ウミショウブ防衛プロジェクト  
実施地域 : 沖縄県石垣市  
アクティビティ種別 : ②地域の自然資源の維持・向上  
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献  
取組実施日・期間 : 2023年10月～2025年6月

### 取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題	アオウミガメの採食等により絶滅危惧種であるウミショウブの藻場減少が進み、このことが漁獲量の減少や自然環境の破壊の要因になっている。 そのため、ウミショウブの藻場再生に取り組み、生物多様性の回復と自然環境の改善につなげる。
インプット	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトコーディネーターの派遣：人員 2人/四半期 <input checked="" type="checkbox"/> 海藻畜養水槽の設置：合計6個 <input checked="" type="checkbox"/> 保護柵等の設置：約1ha <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング機器の導入：ドローン1台、水中カメラ1台、GoPro1台
アクティビティ	<input checked="" type="checkbox"/> 地元小学校でのイベント実施5回（2024年3回、2025年2回） （環境教育や海藻畜養水槽関連イベントを実施） <input checked="" type="checkbox"/> ウミショウブ移植：1回 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリングの実施：1回（2025年）
今後の展望	2025年6月からJ-ブルーカーボンプレジットの創出を目指し、モニタリングを開始。ドローンを活用した空撮写真や水中写真から、藻場再生の「面積」と「密度」を正確に計測し、精度の高いモニタリングに取り組んでいる。